

(仮称) 守谷市総合公園市民説明会での主な質問・回答

- 避難場所として受け入れる人数は、どの程度を想定しているのか。
【回答】 1, 500人(1日分の防災備蓄品)
- 屋内運動場の規模はどの程度を想定しているのか。
【回答】 規模: 1, 500㎡~3, 500㎡程度
バレーボール1面以上、バスケットボール1面以上
- 新モビリティは、具体的にどのようなものを考えているのか。
【回答】 自動運転バスなどが想定される。
ただし、実証実験の段階であることから、当面の守谷駅からの交通アクセスは、シャトルバスなどの活用を考えている。
- 体育館など公園施設及び維持管理の予算は、どの程度か。
【回答】 予算は、25年の事業期間で最大150億円を想定。その内、建設費約130億円の半分は国費補助を見込んでいる。体育館などに稼げる施設を設け、維持管理費充当し市税の削減を想定している。
- 市場調査は行っているのか。
【回答】 事業者ヒアリングを実施し、需要が期待できないものについては削除予定。体育館は、常総運動公園の体育館の稼働率が高く、需要が期待できるので必要と考えている。
- PFIで事業者が集まらない場合、方式を切り替えて事業は継続するのか
【回答】 費用対効果を考え、最適な手法としてPFI事業として公募をする予定であるが、応募が無ければDBOや従来とおりの発注方式も検討する。
- 公園整備計画に対し、市民が意見を出すことは可能ですか。
【回答】 10月10日まで、企画課宛に意見をメール又は電話等による日程調整後、対面で意見を伺うこともできる。意見については、事業者との個別面談の中で、市民からの意見として活用する。個別回答は、実施しない。

- 広域避難場所の利用者の多くは、市民ではない守谷 SA 利用者となることが見込まれるが、市税を 1 5 0 億円もかけて整備する必要があるのか

【回答】1 5 0 億円は、公園全体の整備と 2 5 年間の運営にかかる最大の経費であり、そのうち防災機能に係る経費は大きくありません。また、国庫補助金を活用するため、全て市税となることはありません。広域避難場所としての機能を持たせることについては、災害時に市内に滞在する皆様の安全を確保する重要なことであると理解していただきたい。